

神田外語大学言語科学研究科 公開講座

参加
無料

7.13 (土)

15:00-16:30

オンライン開催



神田外語大学図書館全景

テーマ

「会話分析」と「共通語」の視点から第二言語 での異文化間コミュニケーションを考える

What is to communicate in L2 in intercultural settings?: From the perspectives of
"conversation analysis" and "a lingua franca"

講師：小中原 麻友
神田外語大学 英米語学科准教授

お申し込み方法

右のQRコードよりお申し込みください。申込期間終了後にご登録のメールアドレス宛に接続先等の詳細をご案内します。

お申し込みフォーム

<https://forms.gle/1KfSRSNk79L1Qj7V9>



お申込期限：7/9 (火)

同日13:30~14:30に本学大学院説明会を開催いたします。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

神田外語大学大学院 入試説明会

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>

お問い合わせ

infograd-kuis@ml.kandagaigo.ac.jp

☎ 043-273-1320



講師プロフィール

小中原 麻友 神田外語大学 英米語学科准教授

英国のUniversity of EssexでMA in Applied Linguistics (with distinction)を取得後、早稲田大学大学院教育学研究科で博士（学術）号を取得。主な専門分野は、共通語としての英語（English as a lingua franca）、会話分析、マルチモーダル会話分析、英語学習者/使用者の言語態度とその経時的変遷、ELF使用実態を踏まえた教育実践など。著書にConflict Talk in English as a Lingua Franca: Analyzing Multimodal Resources in Casual ELF Conversations (De Gruyter Mouton)、English as a Lingua Franca in Japan: Towards Multilingual Practices (共編、Palgrave)。



講演要旨

普段何となくしている「日常会話」ですが、自分が「どのような方法」で会話をしているか、考えたことはありますか。また、グローバル化に伴い人々の往来が地球規模で拡大し、異文化間コミュニケーションの機会がますます増えていますが、そのような場面で上手く意思疎通を図るには、「母語話者のように話すこと」が重要なのでしょうか。

本講義では、社会言語学の一分野である「会話分析」と「共通語」の視点から、第二言語での異文化間コミュニケーションについて考えます。講義前半では、会話分析の基本的な視点と基礎的概念について、日本語や英語での会話例を提示しながら解説します。後半では、「母語話者の優位性」や「母語話者の規範に従った言語使用」の適切性を問い直す「共通語としての英語」の分野の語用論的研究を紹介し、この「共通語」の視点が、第二言語としての日本語での異文化間コミュニケーションにおいてどのように適用できるかを考えます。

